

社会資本総合整備計画

坂東IC周辺地区都市再生整備計画

平成26年12月19日

茨城県坂東市

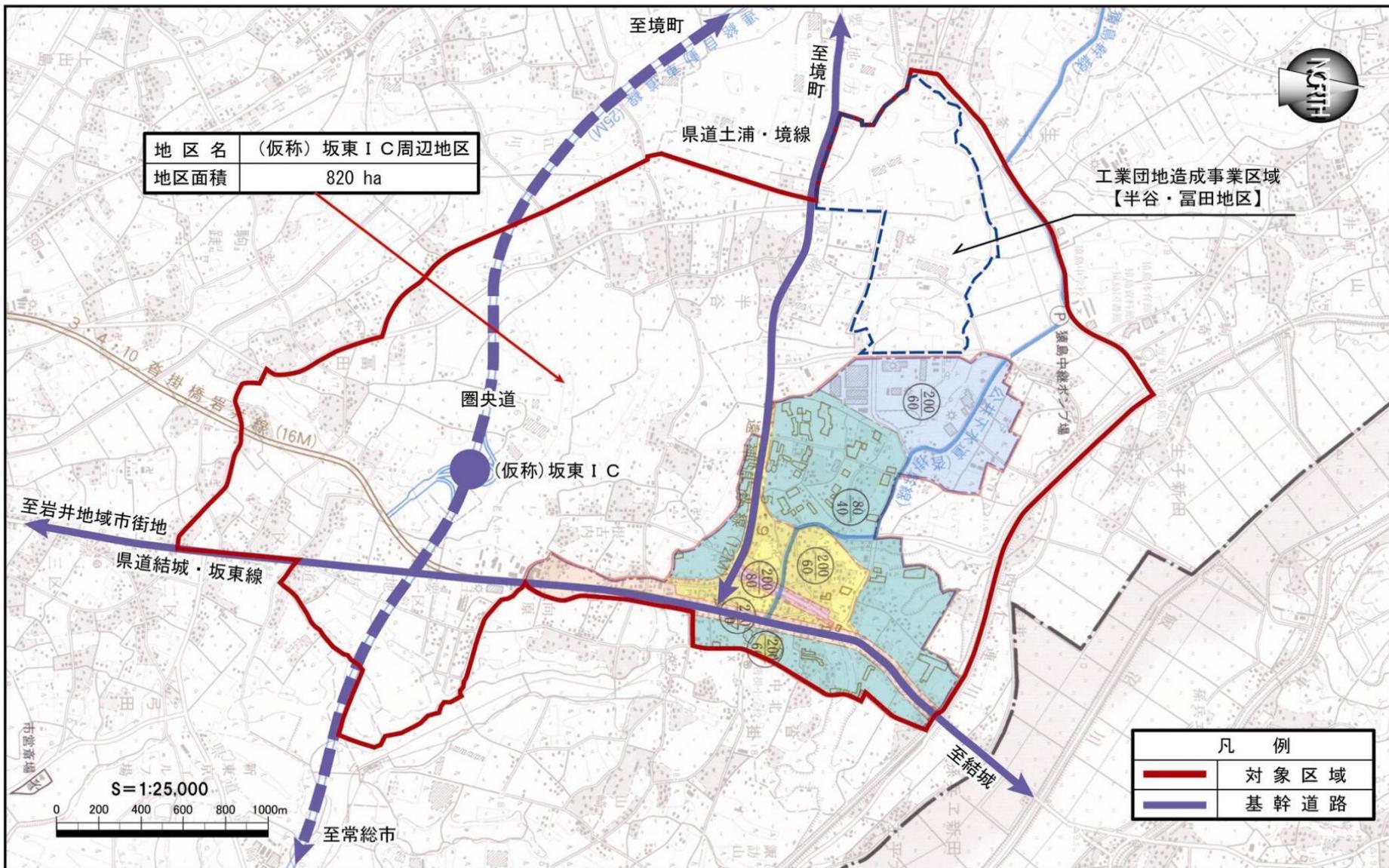
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
合計												0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	坂東IC周辺地区都市再生整備計画		交付対象	坂東市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)			

都市再生整備計画の区域

(仮称) 坂東IC周辺地区 (茨城県坂東市)	面積	820ha	区域	坂東市半谷及び富田及び弓田の各一部
------------------------	----	-------	----	-------------------



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	208	129	173	536	854
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	208	129	173	536	
前年度からの繰越額 (d)	0	26	100	159	288
支払済額 (e)	182	55	114	248	
翌年度繰越額 (f)	26	100	159	288	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	288	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	41.5%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由				年度途中で補正予算の充当があり、年度内契約が困難であったため	

※ 平成25年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画(第4回変更)

ばんどう しゅうへん ち く
坂東IC周辺地区

いばらきけん ばんどう し
茨城県 坂東市

平成 26年12月19日

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	ばんどうし 坂東市	地区名	ばんどう しゅうへん ちく 坂東 I C 周辺地区	面積	820	ha
-------	-----	------	--------------	-----	------------------------------	----	-----	----

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

共生文化創造エリアの実現

- 目標 1：地区全体としての魅力や活力、賑わいに繋がる新たな産業拠点の形成
- 目標 2：地区住民の誰もが安全に安心して暮らせる環境整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区内の猿島地域市街地では、これまでにまちづくり交付金を活用し、市街地整備をはじめとする事業を実施してきたが、周辺地域における就業の場としての企業用地の不足や公共インフラ等の環境整備が遅れているため、地区内の人口増加や活力・賑わいに繋がっていない。
 今回、広域交通網である首都圏中央連絡自動車（以後、圏央道）及び（仮称）坂東ICの整備を契機として、地区西側では工業団地造成事業（以後、半谷富田地区工業団地）を予定しており、就業場所としての企業用地の整備を計画している。

課題

本地区は広域交通網や新たな就業の場等の環境整備が遅れているため、地区全体における人口の減少や活力・賑わい等が停滞してきており、地区の発展や活力・賑わいに繋がる基盤や環境づくりを進めていく必要がある。
 地区内には狭い生活道路が多く残っており、子どもから高齢者まで誰もが身近なところで憩い・ふれあい・遊べるような公園等の施設なども少ない。今後、圏央道及び（仮称）坂東 I C や半谷・富田地区工業団地の整備に伴う地区内の交通量の増加等が地区住民の暮らしに与える影響を考慮し、地区内に住む誰もが安全に安心して暮らしていくことのできるまちづくりに向けた取り組みを住民と一体となって進めていく必要がある。

【まちづくりの課題】

- ・就業場所としての産業拠点の整備
- ・生活道路や公園等の基盤施設の整備による快適な生活環境の向上

将来ビジョン（中長期）

【坂東市総合計画】・・・平成19年度～平成28年度

将来像：人と自然がおりなす 活力・安心・協働に満ちた坂東市

- 基本理念「発展・活力」・・・広域交通体系や地域資源を生かしたまちづくり
- 「安全・安心」・・・誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり
- 「協働・共生」・・・人と人が協働し、人と自然が共生するまちづくり

○戦略プロジェクト

- 【活力・にぎわい創生プロジェクト】
 - ・圏央道と新たな工業団地を含む I C 周辺整備を契機として、農業や工業を中心とする産業構造を総合的に強化しながら、恵まれた自然や田園環境等の資源を生かすことによって、交流人口の拡大を図り、市全体における新たな活力・にぎわいの創生につなげていきます。
- 【坂東っ子育成支援プロジェクト】
 - ・坂東の歴史・文化を礎に、ふるさとの坂東に愛着を持ちながら、様々な分野で活動する人づくり、未来を託す確かな人づくりに向けた取り組みを実施していきます。
- 【安全・安心・協働のまちづくりプロジェクト】
 - ・地域生活を支える福祉や医療の充実、防災対策の強化を図るなど、安全・安心なまちづくりに向けた取り組みを実施するとともに、まちづくりに関する広報・広聴の充実や地域コミュニティ活動の充実を図るなど、協働のまちづくりに向けた取り組みを実施していきます。

目標を定量化する指標

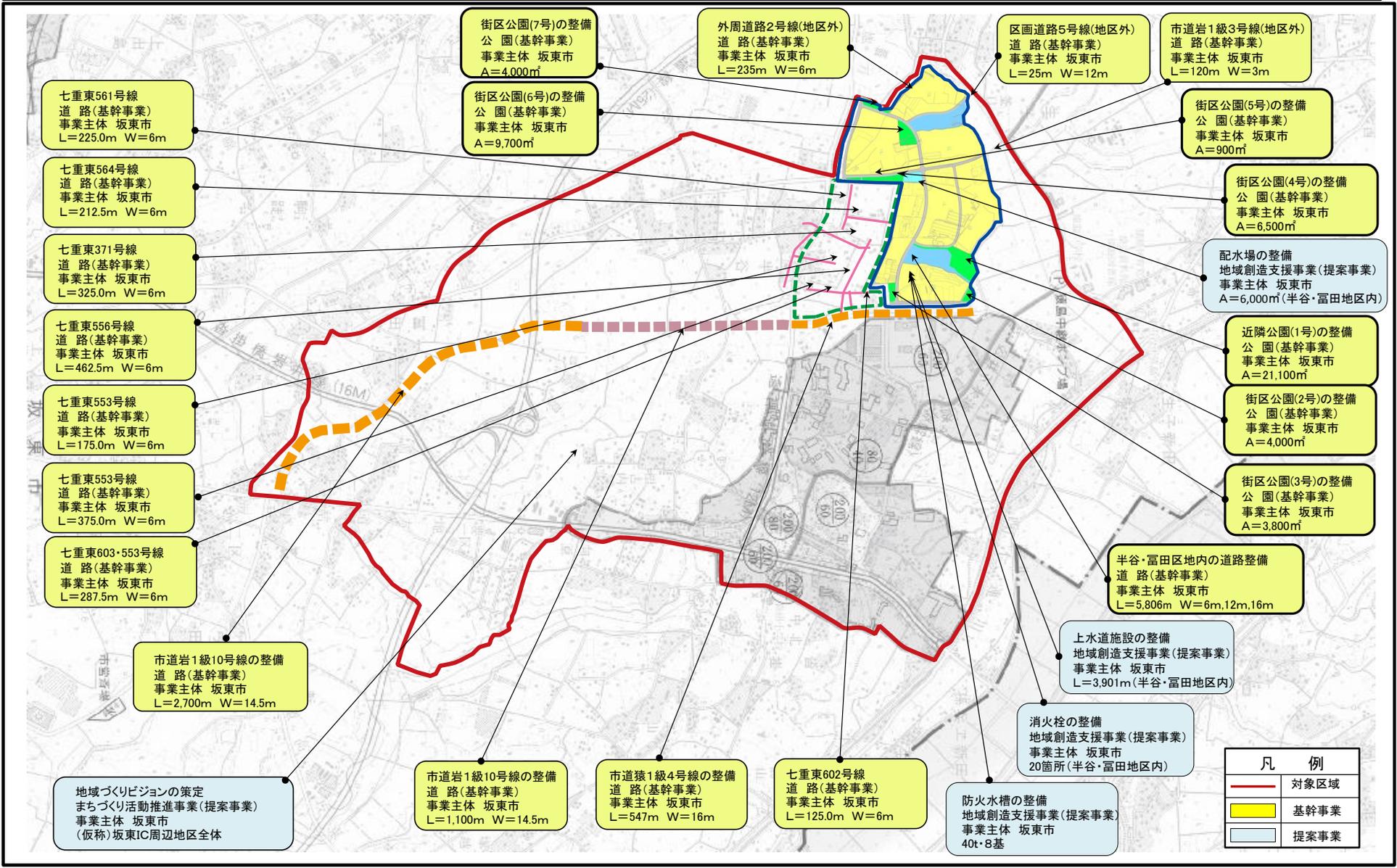
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区内企業数	(社)	区域内の立地企業数	地区内の立地企業数による地区の活力の強化	40社	H 2 4	50社	H 2 9
身近な生活道路や公園・広場等の整備に対する満足度	(ポイント)	市民アンケート調査の小学校区別における身近な生活道路や公園・広場等の整備に対する満足度	地区内の生活環境の向上	-33.5ポイント	H 1 8	-23.8ポイント	H 2 9

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■整備方針１：地区全体として魅力や活力、賑わいに繋がる新たな産業拠点の形成</p> <p>・圏央道の建設や（仮称）坂東ＩＣの設置、半谷・富田地区の工業団地の整備による、地区への様々な面での効果を活かし、地区の魅力の向上とともに、活力と魅力のある地区づくりを進める。</p> <p>・これからの新しい地域づくりを進めていくための指針となる地域づくりビジョンの策定を、地区住民の参画・協働の基でビジョンづくりを進める。</p>	<p>○道路（基幹事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設道路の整備（半谷・富田地区内道路用地費、調査設計費、道路築造費等） ・市道猿１級４号線の整備 ・半谷・富田地区外道路の整備（市道岩１級３号線、区画道路５号線、外周道路２号線） <p>○公園（基幹事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣公園（１箇所）及び街区公園（６箇所）の整備 <p>○地域創造支援事業（提案事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道施設の整備 ・消火栓の整備（２２箇所） ・防火水槽の整備（８箇所） ・配水場の整備 <p>○まちづくり活動推進事業（提案事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりビジョンの策定
<p>■整備方針２：地区住民の誰もが安全に安心して暮らせる環境整備</p> <p>・半谷・富田地区に隣接する農村集落地区を中心として、地区内での安全で快適な暮らしに繋がる道路等の都市基盤施設の整備を進める。</p>	<p>○道路（基幹事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道猿１級４号線の整備 ・集落地内道路の整備（七重東３７１、５５３、５５６、５６１、５６４、６０２、６０３号線等） ・半谷・富田地区外道路の整備（市道岩１級３号線、区画道路５号線、外周道路２号線） <p>○公園（基幹事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣公園（１箇所）及び街区公園（６箇所）の整備 <p>○地域創造支援事業（提案事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽の整備（８箇所）
<p>その他</p>	

坂東IC周辺地区(茨城県坂東市) 整備方針概要図

目標	共生文化創造エリアの実現 ・地区全体して魅力や活力、賑わいに繋がる新たな産業拠点の形成 ・地区住民の誰もが安全に安心して暮らせる環境整備	代表的な指標	地区内企業数(社)	40社(24年度) → 50社(29年度)
			身近な生活道路や公園・広場の整備に対する満足度(ポイント)	-33.5(24年度) → -23.8(29年度)



凡 例	
	対象区域
	基幹事業
	提案事業